

# 協働体制検討WGの検討状況 及び第1回ワークショップの開催結果

---

(第2回 高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会 資料)

平成27年12月15日

# 1. 協働体制検討ワーキンググループの概要

## ○主な検討事項

- ・ 次期体制(準備会)移行に向けた体制の検討
- ・ 公園供用時の管理運営・市民協働体制の検討
- ・ 市民ワークショップの企画立案 ⇒市民ワークショップの“幹事会”としての役割

## ○委員名簿

(敬称略)

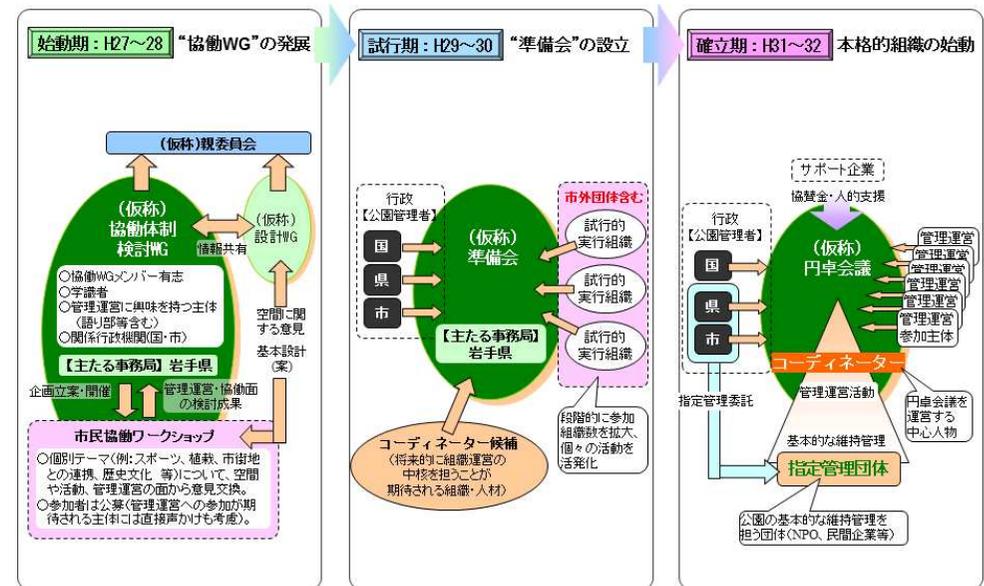
区分	氏名	所属・役職等
幹事	広田 純一	岩手大学農学部教授
副幹事	五味 壮平	岩手大学人文社会科学部准教授
委員	阿部 裕美	元陸前高田災害FMパーソナリティ
委員	石川 浩行	一般社団法人 陸前高田青年会議所
委員	磐井 正篤	株式会社 いわ井
委員	岡本 翔馬	NPO法人 桜ライン311
委員	菅野 修	陸前高田市体育協会
委員	熊谷 政之	漁業
委員	種坂奈保子	陸前高田地域振興株式会社
委員	村上 幸司	陸前高田市企画部商工観光課
委員	吉田 和子	りくカフェ運営メンバー
委員	吉田 裕	今泉まちづくり協議会
委員	渡辺 雅史	横田地区コミュニティ推進協議会 ・高田松原を守る会

## ○事務局

岩手県県土整備部都市計画課  
大船渡土木センター  
陸前高田市

■管理運営体制の段階的な組織化のイメージ

会議・組織等の名称や内容は、基本計画策定段階のものであり、実際と異なる場合があります。



## 2. 検討スケジュール

### 有識者委員会【県】

8月5日開催

#### 第1回有識者委員会

○検討方針(案)について

3月下旬開催予定

#### 第2回有識者委員会

○各委員会等検討結果について  
○最終成果(案)について

### 協働体制検討 ワーキンググループ【県】

- 次期体制(準備会)移行に向けた体制の検討
- 公園供用時の管理運営・市民協働体制の検討
- 市民ワークショップの企画立案

9月11日開催

#### 第1回WG

12月10日開催

#### 第2回WG

3月開催予定

#### 第3回WG

### 市民協働ワークショップ【県】

10月20日開催

#### 第1回WS

○祈念公園について知ろう  
自由意見交換/次回WSの検討テーマの設定

1月開催予定

#### 第2回WS

○どんな利活用ができそうか考えよう  
公園内の利活用メニューの検討/市民協働できそうな部分の検討

## 3-1. 第1回協働体制検討ワーキンググループにおける主なご意見

日時：平成27年9月11日(金)18:30～21:00  
9月12日(土)9:30～12:00(現地視察)

### ○震災津波伝承施設に関する意見等

- ・伝承施設、(仮称)一本松記念館等、相互に連携しながら内容の検討を進める場が必要
- ・リピーターが期待できるような施設とすること、地元の人々が訪れやすくなる場であることが重要



## 3-2. 第2回協働体制検討ワーキンググループにおける主なご意見

日時：平成27年12月10日(木)18:30～21:00

### ○震災津波伝承施設に関する意見等

- ・震災津波伝承施設は、県を代表する施設なのであれば、県内沿岸被災市町村で伝承にかかる活動をされている方の意見を聞くことが重要ではないか。
- ・震災津波伝承施設は、市民協働を検討していくうえでも重要な施設であり、協働体制検討ワーキンググループにも検討委員会での検討状況を随時情報提供し、必要に応じて市民の意見を聞くようにしてほしい。

## 4 . 市民協働ワークショップにおける主なご意見

日 時:平成27年10月20日(火)18:30~21:00  
会 場:陸前高田市役所 4号棟 第6会議室  
参加者:市民を中心とした51名(一般公募者数)  
内 容:「第1回公園について知ろう」を主題として、高田松原復興祈念公園や関連事業の説明を行った上で、自由に意見交換を行った。



### ■主な意見

- ＜陸前高田らしさ＞ 高田らしさを活かした公園にしたい(海とのつながり、歴史文化等)。
- ＜市民の利用＞ 市民生活に根ざした、市民が日常的に利用しやすい公園にしたい。
- ＜祈りの場＞ 祈りの方向のとらえ方は人それぞれ異なる。／浸水区域に設けるのは疑問。
- ＜築 山＞ 景観的にはあった方が良い。空間を仕切るだけであれば築山でなく植栽で十分。
- ＜安全確保＞ 浸水区域内に公園を設置することは疑問。人が集まる施設はせめて浸水区域外に設置すべき。
- ＜一時避難＞ 万一逃げ遅れた場合の避難場所(タワー等)はあった方が良い(特に高齢者・身障者対応)。
- ＜避難方法＞ 車は大事な財産なので、車での避難も考えるべきではないか。
- ＜震災遺構＞ 遺構はできる限り現状のまま保存したい。／複数残すことの意義が分からない。
- ＜教訓の伝承＞ 東日本大震災の教訓を、後世まできちんと伝えられるような施設としたい。
- ＜伝承施設＞ リアルな体験ができる施設としたい。／一本松記念館等の他施設との役割分担が必要。
- ＜高田松原・海岸＞ マツ林の再生過程を楽しむ。／元の風景や利用環境(海水浴、散策等)を再生してほしい。
- ＜植 栽＞ 高田が北限の種、高田の農業に関連ある種、花が楽しめる種などを植栽してはどうか。
- ＜交流・地域活性＞ 国内外から多くの人を訪れ、観光や経済、市民交流などの活性につながる公園にしたい。
- ＜市街地との連携＞ 公園ばかりに人が集まるのではなく、そこから市街地へ人が流れるような工夫が欲しい。
- ＜管理運営＞ 参加体験型のイベントを開催する。／公園内への民間の出店、公園による雇用創出など。